

令和4年度第1回土木建築部公の施設に係る指定管理者制度運用委員会
令和3年度指定管理者モニタリング検証結果について
(与那原マリーナ)

- 1 開催日時 令和4年8月9日(火)14:30~16:50(説明及び質疑)
- 2 開催場所 沖縄県庁11階第4会議室
- 3 出席状況 委員4名中、4名出席
委員 沖縄女子短期大学総合ビジネス学科教授 渡久地 啓
委員 鈴木和子税理事事務所税理士 鈴木 和子
委員 桜設計工房代表取締役社長 喜名 英之
委員 (一社)日本マリン事業協会沖縄県支部長 眞喜志 康則

4 質疑概要

(1)事務局からモニタリング実施結果報告等について説明を行った。

(2)委員からの主な意見(質問)等 ●委員、○事務局

●与那原マリーナの陸上に空きがあるのは利用料が高いことが影響しているのではないか。また給電や給水等利用するため使用料が係留料の10%が高いと思われているのではないか。

○陸上部分は50%埋まっており、大型船、中型船置き場は埋まりつつある。空きがあるのはディンギー船を置く場所がまた余裕がある。また施設使用料の徴収は全国的にみても係留代の何パーセントという徴収の仕方で行っている。

●県民割があれば県民も利用しやすいのではないか。今後検討をお願いしたい。

●施設利用者はまだ伸びる予想か、宜野湾マリーナは満隻なので使用料の伸びは少ないが、与那原マリーナはまだ伸びしろはあるのか。

○与那原マリーナも海上は満隻だが陸上が半分しか埋まっていないので、まだ使用料は伸びる状況にある。

●P7修繕費が計画と実績が大きく異なる。

○R2、R3とも修繕費は計画的に執行している。